

教育出版 音楽Ⅱ Tutti+ (音Ⅱ 701)

芸術科「音楽Ⅱ」 シラバス	単位数	2 単位	担当者	
	学科・学年・学級		科 第	学年 組
	使用教科書・副教材等		音楽Ⅱ Tutti+	

1 教科の目標（講座のねらい）

- (1) 音楽Ⅰの学習経験を基盤として、質的に高めた音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせながら、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化とより深く関わる資質・能力を育成する。
- (2) 音楽Ⅰの学習成果を踏まえ、文化的・歴史的背景や音楽の多様性について理解を深め、より広い視野で音楽を捉えることができるようにする。
- (3) 個性豊かな音楽表現を創意工夫できるようにするために、必要となる技能を身に付け高めることができるようにする。
- (4) 音や音楽を知覚・感受し、思考・判断する過程を充実させ、音楽を評価しながらそのよさや美しさを深く味わって聴く力を高める。
- (5) 主体的・協働的な音楽活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、音や音楽のよさや美しさなどを自ら進んで感じ取ろうとする態度を養う。
- (6) 音や音楽と生活や社会との関わりについて考え、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度や音楽の知的財産権を尊重する態度を養う。

2 育てたい生徒像

「音楽Ⅱ」では、「音楽Ⅰ」の学習経験を基盤として、生徒一人一人が音楽を永続的に愛好する心情を育むとともに、生涯にわたって豊かな音楽活動をしていくために必要となる知識や技能を確実に身に付けさせたい。そのため、生徒自らが感性を働かせて思考・判断しながら個性豊かに表現できるような場の設定や、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、理解したことを根拠として批評するなど、より主体的に音楽と関わりながら鑑賞する場の設定を工夫する。

具体的には、第一に歌唱や器楽の学習活動において独唱(奏)、小アンサンブル、合唱(奏)などの様々な規模・形態の表現活動を取り入れる。その際、教材を選択できるようにし、自分の目指す音楽表現をするための課題を主体的に解決できるよう支援していく。第二には、表現領域の学習において一人一人が音楽について思考・判断したことを様々な方法で表現できる場を設ける。音楽を形づくっている要素やそれらの働きの知覚・感受に基づく創意工夫はもちろんのこと、音による表現に加えて、調査研究やレポート発表、討論などの課題も取り入れ、音楽との多様な関わり方に関心をもたせたい。第三には、世界の様々な音楽や日本の伝統音楽などにこれまで以上に幅広く親しませ、広い視野で音楽を捉えられるような題材を設定する。音や音楽を表現したり鑑賞したりする音楽の学習や楽しみ方に加えて、楽曲の背景にある文化や社会との関わりといった多様な視点からの音楽学習や楽しみ方を追究させたい。

これらの取り組みによって、生徒一人一人の生涯にわたって音楽を愛好する心情や音楽文化と深く関わる態度をこれまで以上に豊かに育んでいきたい。

3 授業の内容と学習方法

- (1) 日本の伝統音楽や世界の様々な音楽について、文化的・歴史的背景の学習とともに、発声の特徴を生かして歌うなどの具体的な音楽表現を通して理解を深められるようにする。
- (2) 音楽を形づくっている要素の働きが楽曲の特徴にどのような役割を果たしているかを理解できるように、表現教材の学習と創作や鑑賞の学習の有機的な関連に配慮して題材を構成する。
- (3) 音楽文化についての理解を深めるために、音楽が文学や絵画などの諸芸術や他の文化と互いにどの

ように影響し合って発展してきたかを考えられるような題材を設定する。

- (4) 表現教材の学習にあたっては内容に応じて選択制を取り入れ、「音楽Ⅰ」で身に付けた創造的な表現の能力を個性豊かな表現の能力に伸長できるよう独唱(奏)、小アンサンブル、合唱(奏)などの様々な規模・形態の表現活動を取り入れる。
- (5) 音楽との多様な関わり方に関心をもたせ、思考・判断し、自らの考えを表す力を伸ばすため、長期休業中に課題レポートを課す。

年間指導計画・評価規準例

[illegible]

年間指導計画・評価規準例

学期	月	時数	題材名	学習のねらい	学習領域分野	教材 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材 (自作教材を含む)	評価規準例			学習指導要領																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
										A 表現									B 鑑賞			〔共通事項〕																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
										(1) 歌唱			(2) 器楽			(3) 創作			(1) 鑑賞																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
										ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ア 思考 判断 表現	イ 知識																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
																									(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
										(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)		(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
6	4		音階や音素材の特徴を手掛かりに音楽をつくろう	世界や日本の様々な音階の特徴や音素材の特徴を表したいイメージと関わらせて理解し、個性豊かに創作表現を創意工夫する。	創作	◇音のスケッチ③ 音素材の特徴を生かして音楽をつくろう ◇音のスケッチ④ 音階から音楽をつくろう ◆One More Step!! MIDIの打ち込みに挑戦しよう ◆楽典(音階)	【知】音素材、音階の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能や、旋律をつくったりつくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けたりする技能を身に付け、創作で表している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに創作表現を創意工夫している。	世界や日本の様々な音階の特徴や音素材の特徴を表したいイメージと関わらせて理解し、個性豊かに創作表現を工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

年間指導計画・評価規準例

学 期	月	時 数	題材名	学習のねらい	学習 領域 分野	教材 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材 (自作教材を含む)	評価規準例			学習指導要領																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
										A 表現									B 鑑賞				〔共通事項〕																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
										(1) 歌唱			(2) 器楽			(3) 創作			(1) 鑑賞																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
										ア 思考 判断 表現	イ 知識			ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識			ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
											(ア)	(イ)	(ウ)			(ア)	(イ)	(ウ)								(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
2 学 期	2		交響曲の仕組みを探ろう	モーツァルトの「交響曲第40番」を通して、オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさを深く味わって聴く。	鑑賞	◆交響曲の仕組みを探ろう ◎交響曲第40番 ト短調 K.550 ◆音のスケッチ⑤ What Is Composition? ◆作曲家年表 ◆音楽史と史実 ◆楽典 いろいろな形式 ◆史跡でたどる西洋音楽史 ◆鑑賞ノート(自作)	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	オーケストラの響きやソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさを深く味わって聴くことやモーツァルトの生涯に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

年間指導計画・評価規準例

学 期	月	時 数	題材名	学習のねらい	学習 領域 分野	教材 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材 (自作教材を含む)	評価規準例			学習指導要領																				
										A 表現									B 鑑賞			〔共通事項〕								
										(1) 歌唱						(2) 器楽			(3) 創作							(1) 鑑賞				
										ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ア 思考 判断 表現					イ 知識				
																						(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)		(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																					
10	3	アンサンブルを楽しもう ーリコーダーかギターを選択してー	リコーダーまたはギターのどちらかを選択し、各楽器の奏法を身に付け、高める。また、音楽の嗜好や技能の習熟度に応じた教材を選択し、個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。	器楽	[リコーダー選択者] □Down by the sally gardens □「交響曲第1番」から第4楽章 □Air～「水上の音楽」から～ □風の谷のナウシカ～エンディング～ □カノン集 ◆リコーダー運指表 [ギター選択者] □Cavatina □Can't help falling in love □エチュード集 ◆ギター＆キーボード・コード表 [アンサンブル共通教材] □The raiders march	【知】曲想と音楽の構造との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	リコーダーまたはギターのどちらかを選択し、奏法を身に付け高めることや、音楽の嗜好や技能の習熟度に応じた教材を選択し、個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするのことに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	○	○	○	○											音色 リズム 速度 旋律 テクスチュア 強弱 形式 構成 相互の関連	サミング タンギング カノン アルベツジョ アボヤンド奏 法 アル・アイレ奏 法			
		吹奏楽の魅力を味わおう ー「オリент急行」の旅を描くドラマー	列車が走行する様子や情景の移り変わり、旅人の心情の変化などが吹奏楽でどのように描かれているか、オーケストラの響きと比較しながらイメージ豊かに聴く。	鑑賞	◆情景を思い浮かべながら聴こう ◎オリент急行 ◆楽器音域表 ◆ウィンド・オーケストラの配置例 ◆One More Step!! 鉄道を描いた音楽を聴き比べよう ◆鑑賞ノート(自作)	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深めている。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えると、曲や演奏に対する評価とその根拠及び音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	列車が走行する様子や情景の移り変わり、旅人の心情の変化などが吹奏楽でどのように描かれているかに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。									○						○	○		音色 リズム 速度 旋律 テクスチュア 強弱 構成 相互の関連	吹奏楽			
11	2	オーケストラの魅力を味わおう ー組曲と交響詩ー	劇音楽における場面や物語を演出する音楽の効果、音楽に文学や絵画を結び付けた交響詩を、オーケストラの壮大な響きとともに味わう。	鑑賞	◆組曲を楽しもう ◎ペール・ギュント第1組曲 op.46 ◆交響詩を味わおう ◎交響詩「ローマの松」 ◆史跡でたどる西洋音楽史 ◆楽器音域表 ◆作曲家年表 ◆音楽史と史実 ◆鑑賞ノート(自作)	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解を深めている。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えると、曲や演奏に対する評価とその根拠及び音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	劇音楽における場面や物語を演出する音楽の効果、音楽に文学や絵画を結び付けた交響詩を、オーケストラの壮大な響きとともに味わうことに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。															○				音色 リズム 速度 旋律 テクスチュア 強弱 形式 構成 相互の関連	組曲 交響詩		
		4	混声合唱を美しく響かせよう	他者との調和を意識して歌いながら混声合唱の豊かな響きを味わう。また、曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	歌唱	○あなたはどこに ○たからもの ○大きな古時計 ○Moon river	【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	他者との調和を意識して歌うことや、曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○		○		○	○										音色 速度 旋律 テクスチュア 強弱 相互の関連				
12	4	名曲プレゼンテーションⅡー演奏家と楽器が生みだす音楽の魅力ー	紹介文を作成して作曲家や楽曲の背景、特徴などをプレゼンテーションしながら、様々な楽器の構造や発音原理の違いによって生み出される音色に注目するとともに、独奏曲を通して奏者の表現の特徴を比較しながら鑑賞する。	鑑賞	◆名曲プレゼンテーションⅡー演奏家と楽器が生みだす音楽の魅力ー(自作) ◆演奏家の表現の仕方を感じ取ろう ◎無伴奏チェロ組曲第1番 ◎ツィゴイネルワイゼン ◎アルハンブラの思い出 ◎ハンガリー田園幻想曲 ◎クラリネット・ソナタ第2番 ◎アダージョとアレグロ ◎ハープ・ソナタ ◆口絵①② 楽器の音色から広がる音楽の世界 ◆鑑賞ノート(自作)	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めている。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えると、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	紹介文を作成してプレゼンテーションすることや、様々な楽器の構造や発音原理の違いによって生み出される音色に注目したり独奏曲を通して奏者の表現の特徴を比較したりすることに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。																○		○	○	○	音色 リズム 速度 旋律 テクスチュア 強弱 形式 構成 相互の関連	

年間指導計画・評価規準例

[illegible]

年間指導計画・評価規準例

学 期	月	時 数	題材名	学習のねらい	学習 領域 分野	教材 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材 (自作教材を含む)	評価規準例			学習指導要領																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
										A 表現									B 鑑賞				〔共通事項〕																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
										(1) 歌唱			(2) 器楽			(3) 創作			(1) 鑑賞																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
										ア 思考 判断 表現	イ 知識			ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識			ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ア 思考 判断 表現	イ 知識																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
											(ア)	(イ)	(ウ)			(ア)	(イ)	(ウ)									(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		4	世界の様々な音楽の魅力Ⅱ —世界の声の音楽—	世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽表現の多様性を捉えるとともに、諸民族の声の音楽と日本の声の音楽の比較を通して、音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。	歌唱 鑑賞	◆世界のさまざまな音楽の魅力 (声の音楽) ◎ジョージアの男声合唱 ◎ポリネシアのヒメネ ◎ドゥルパド ○草原情歌 ○トラジ タリオン ○赤いサラファン ○ソルヴェイグの歌 ○母が教えた歌 ◎声明「散華」 ◎平曲「那須与一」 ○こきりこ節 ○佐渡おけさ ◆民謡を歌ってみよう	【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。(歌唱) 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。(鑑賞) 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。(歌唱) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にととの音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。(鑑賞)	世界の諸民族の様々な声の音楽から音楽表現の多様性を捉えることや、諸民族の声の音楽と日本の声の音楽の比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考えることに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														</